令和６年度

深谷市

企業版ふるさと納税

地方創生応援税制

第3回
地方創生応援税制
（企業版ふるさと納税）
に係る大臣表彰
受賞

令和元年度
～令和４年度
累計寄附受入額
埼玉県内 1位

令和5年度
SDGs未来都市
選定

深谷市

市長あいさつ FUKAYA

埼玉が誇る郷土の偉人で深谷市出身の渋沢栄一翁が肖像の新一万円札が7月3日に発行され、大きな喜びを感じています。栄一翁の「論語と算盤」の精神は、SDGsとの親和性が改めて見直され、これまで以上に注目されており、深谷市では栄一翁の功績とその理念を後世へと引き継ぐ取組を進めております。令和5年5月には、深谷市が提案するSDGs達成に向けた計画が優れた取組提案として認められ、国から「SDGs未来都市」に選定されました。

また、栄一翁関連施設の整備・活用や地域の課題解決に向けた挑戦を、埼玉県と連携・協力し、オール埼玉で実施してまいります。

多くの皆様に埼玉県はもとより深谷市にお越しいただき、企業版ふるさと納税により全国の企業からいただいた寄附金も活用され、令和5年8月にリニューアルオープンを迎えた旧渋沢邸「中の家」をはじめとする関連施設への訪問を通じて、栄一翁の精神に触れ、地域の魅力を感じていただければ幸いに存じます。プロジェクトの実現に向け、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

深谷市長　**小島　進**

知事あいさつ SAITAMA

「近代日本経済の父」と称される渋沢栄一翁は埼玉県深谷市に生誕し、その生涯で500社を超える企業の設立・育成に関わり、約600の教育機関・社会公共事業の支援や民間外交に取り組まれました。著書「論語と算盤」では、企業経営における道徳の重要性を説き、経営者は自身の利益を追求するだけではなく、社会に還元する必要があると述べています。その理念を企業経営者の方々が大切にしているからこそ、関係した多くの企業や事業が今なお日本経済や社会をけん引しているのだと思います。

県では、栄一翁が本県の誇る偉人であることを全国の皆さんにぜひ知っていただきたいとの考えから、新一万円札の肖像に採用されたことを契機として、栄一翁の足跡をたどる観光周遊を促進しています。深谷市と共に埼玉の魅力を発信してまいりますので、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

埼玉県知事　**大野　元裕**

埼玉県と深谷市が協力して地域の活性化に取り組みます！

埼玉県と深谷市では、渋沢栄一翁を軸とした観光振興を推進するため、県外をターゲットとした情報発信や観光客の広域周遊の促進、SDGsの推進などに取り組んでいます。

埼玉県と深谷市が強力なタッグを組み、オール埼玉で取組を進めることにより、埼玉県内を訪れる観光客のより一層の増加や交流人口の拡大を図り、魅力的なまちづくりや地域の活性化に繋げてまいります。

埼玉県知事　**大野　元裕**
深谷市長　**小島　進**

SDGsの視点をもった深谷市が取り組む5つの主要プロジェクト

深谷市では、「近代日本経済の父」といわれ、郷土の偉人である渋沢栄一が残した「論語と算盤」の考え方や、「忠恕」の精神を地域の活性化に生かしながら、地方創生を実現するため、以下のプロジェクトに取り組んでいます。

1 渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト

Project of FUKAYA

郷土の偉人渋沢栄一の叡智とチャレンジスピリットについて、次世代を担う人材育成に活用し、その理念を後世へと継承する取組を推進することで、未来を切り拓く力を育成し、深谷市の持続可能な発展を目指します。

また、「渋沢栄一＝深谷市」というイメージを全国に広げるとともに、渋沢栄一の理念に基づいた深谷市ならではのSDGsの目標達成に向けた取組の推進やさまざまな変革に挑戦する企業の知恵を学ぶ場を提供し、起業しやすい環境づくりを推進し渋沢栄一の理念を継承する次世代の企業人づくりを進めていきます。

2 農業の強みを生かした産業振興プロジェクト

Project of FUKAYA

深谷市の基幹産業である農業の強みを生かした持続可能なまちづくりを進めるとともに、埼玉県北部地域の中核的な自立都市として発展することを目指し、産業の活性化を図ります。

また、全国有数の生産量を誇る野菜などを活用して、人の流れを生み出し、市内に人を呼び込むとともに、新たな企業誘致や6次産業化、「ふかや」のブランド力の向上、滞在型・体験型観光の展開、地域通貨の活用などにより、農業の強みを生かした産業の活力創出を図ります。

3 「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進プロジェクト

Project of FUKAYA

「ふかや」の魅力を伝えるさまざまな取組を通じて、子育て世帯を中心とした転入促進、転出抑制に取り組みます。

深谷市が有する暮らしの魅力を発信するとともに、市の特色を生かした移住策を推進することで、「ふかや」に行ってみたい、体験したい、住みたいという人を増やし、子育て世帯に重点を置いた移住定住促進を図ります。

4 行政デジタル化推進プロジェクト

Project of FUKAYA

いつでも、どこでも、必要な市民サービスを受けるための「窓口」につながることができるスマートな市役所を実現するため、書面・押印・対面を前提とする文化から脱却し、簡単にオンラインでの申請手続や行政サービスの利用ができるようにします。すべての市民がデジタル化の恩恵を広く受けられるようにオンラインサービスを利用しやすい環境づくりに取り組みます。

5 ゼロカーボンシティ推進プロジェクト

Project of FUKAYA

「ゼロカーボンシティふかや」宣言に基づき、二酸化炭素などの温室効果ガス排出量を削減するため、再生可能エネルギー設備の導入など、環境の保全に向けた取組を推進し、脱炭素社会の実現を目指します。

地域内で発電した再生可能エネルギーの地産地消の推進などに取り組むことで、地球温暖化対策の推進を図ります。

渋沢栄一を核としたひとづくりプロジェクト

Project of FUKAYA

事業のコンセプト

渋沢栄一の理念を継承する次世代の企業人づくり

SDGsとの関係：主に関係するゴール

1 渋沢栄一政策推進事業

令和6年度予算 2,140万円

具体的な取組

1 「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」の開催

渋沢栄一の真髄を体現する方々の知恵を学び、渋沢栄一スピリットを胸に未来を切り開拓く人材へと導くため、「渋沢栄一ひとづくりフォーラム2024」、「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」の取り組みを実施します。その中で、中小企業の経営者等を対象に、様々な困難を乗り越えながら「ひとづくり」に挑戦してきた経営者の実体験を学べる機会をつくります。

渋沢栄一ひとづくりカレッジ

渋沢栄一ひとづくりカレッジの取組

渋沢栄一ひとづくりフォーラム

2 児童・生徒を対象とした職業体験イベント等の開催

小学生を対象とした、しごと体験を通して道徳とチャレンジ精神を育みながら経済の仕組みを学ぶ機会の提供や、SDGsの講座、中高生を対象とした起業家精神育成プログラムなどを実施することで、未来を担う子どもたちに渋沢栄一の精神を広めていきます。

3 新一万円札の発行を見据えたプロモーション

令和6年7月3日に新一万円札が発行されることを踏まえ、関係機関と連携した市内での新一万円札発行記念のイベントや、都内で新札発行をテーマとしたイベントの実施、また、公共施設や駅周辺など人や車の通りが多い場所を中心に設置したのぼり旗やタペストリー、横断幕などによるPR活動を実施します。

4 栄一のふるさとPRイベントの開催

「渋沢栄一の生誕地＝深谷」として、深谷を知ってもらい、魅力を感じてもらい、深谷に足を運んでもらうため、渋沢栄一ゆかりの場所などで、ふるさと深谷の物産販売、観光案内など魅力を発信するPRイベントを行います。

2 SDGs推進事業

具体的な取組

1 深谷市SDGs未来都市計画の推進

本市では、郷土の偉人である渋沢栄一の功績や精神を踏まえ、第2次深谷市総合計画 後期基本計画に掲げたSDGsゴールと関連付けたSDGs未来都市計画を策定し、持続可能なまちづくりや地域活性化の実現を目指します。

深谷市SDGs未来都市ロゴマーク

3 渋沢栄一関連施設整備事業

令和6年度予算 10億4,109万円

具体的な取組

1 旧渋沢邸「中の家」主屋の展示・運営

旧渋沢邸「中の家」では、渋沢栄一アンドロイドと映像を組合せたイマーシブ（没入型）のアンドロイドシアターによって、帰郷した80歳代の渋沢栄一からふるさとや仲間との思い出を聞くことで、渋沢栄一の原点に触れる体験をすることができます。

今回実施した構造補強及び改修工事の記録をまとめた展示を行い、旧渋沢邸「中の家」主屋の歴史や建築物としての魅力を発信します。

また、子供たちへ「中の家」の魅力を伝えるイベント等を実施していきます。

耐震改修工事が完了した旧渋沢邸「中の家」主屋

旧渋沢邸「中の家」主屋内観

2 渋沢栄一アンドロイドによる講義の開催

渋沢栄一記念館では、70歳頃の姿を忠実に再現した渋沢栄一アンドロイドから、渋沢栄一が唱えた「道徳経済合一説」の講義を受けることで、その考えをより身近に体感することが出来ます。

また、新一万円札の発行に合わせて新たな講義のプログラムを実施していきます。

渋沢栄一アンドロイド（渋沢栄一記念館）

3 誠之堂・清風亭の活用と旧煉瓦製造施設の保存活用

誠之堂・清風亭は公開活用、旧煉瓦製造施設は保存修理工事及び活用の検討を進めているところであり、ホフマン輪窯6号窯については、保存修理工事完了後は公開・展示活用し、飲食機能を備えた集客施設とする予定です。

4 起業家支援事業

令和6年度予算 1,183万円

具体的な取組

1 創業支援事業計画実施補助

市内商工団体や県産業振興公社と共に、創業に関する各種相談への対応やセミナー等を開催して創業支援に取り組みます。

2 起業家支援補助

市内で新たに起業するかたに対し、起業に要する経費（事務所等開設経費や広告宣伝費）を補助することで、市内産業の活性化を図ります。

3 経営革新計画策定支援

経営革新計画の策定を奨励し補助することで、起業後の新たな事業創出や経営戦略の策定など事業者の中長期的な取組みを支援します。

2 農業の強みを生かした産業振興プロジェクト

Project of FUKAYA

事業のコンセプト

農業の強みを生かした産業の活力創出

SDGsとの関係：主に関係するゴール

1 野菜を楽しめるまちづくり戦略事業

令和6年度予算 1,254万円

具体的な取組

1 ベジタブルテーマパーク 各種イベント 開催

地域通貨「ネギー」を活用した市内を周遊する企画や収穫体験、レストランイベントなど深谷ならではの観光コンテンツを提供します。

市内飲食店などを回遊する「街歩き×謎解きアドベンチャー」の実施

2 情報発信

野菜を楽しめるグルメや収穫体験など、深谷を楽しめるスポット情報や、スポットを楽しくめぐる観光回遊のモデルコースを紹介するなど、観光客にわかりやすく、深谷を楽しめる様々な情報を発信してまいります。

3 ベジタブルテーマパーク　キャスト

野菜の生産地ならではの楽しさをお届けするこの取り組みに賛同して頂いた生産者や事業者、飲食店などにキャストとなって頂き、知る・味わう・験す・買う、のあらゆる面から魅力あるコンテンツをつくってまいります。

市内生産者などが行う収穫体験等の実施促進や情報発信

ベジタブルテーマパーク フカヤ VEGETABLE THEME PARK FUKAYA

令和6年度活動テーマ　「野菜を楽しめるまち、深谷市へようこそ。ぐるっとベジタブルテーマパーク フカヤ」

2 アグリテック集積戦略事業

令和6年度予算 7,800万円

具体的な取組

1 DEEP VALLEY Agritech Award2024の開催

深谷市の農業が抱える課題を解決する技術・アイデアを全国から広く募るコンテストを開催します。

株式会社レグミン「自律走行ロボットによる防除作業」

※受賞企業による実証の様子

株式会社FieldWorks「ねぎ畑畝間草刈りロボット」

2 アグリテック交流施設の運営

市内に企業が集まり、交流が生まれる場所としてアグリテック交流施設を令和5年10月に設置しました。拠点を設置し、コーディネーターによる効果的なマッチングにより深谷市における企業交流や実証実験を増加させ、企業の製品開発支援や市内への進出に繋げていきます。

3 アグリテック導入支援事業補助金

農家がアグリテックを推進するための機器等の導入に支出する経費の一部を補助することで、儲かる農業の創造に向け、戦略的な農業の推進等を図ります。

アグリテック集積戦略 DEEP VALLEY

令和6年度活動テーマ　アグリテック企業の市内進出支援

3 地域通貨戦略事業

令和6年度予算 11億3,572万円

具体的な取組

1 地域通貨ネギーの販売拡充

発行額・利用額を増加させるため、各種キャンペーンなどを実施します。

2 ネギーチャレンジの実施

地域通貨を活用した地域課題解決の取組「ネギーチャレンジ」を実施します。市民の皆様に様々なチャレンジに参加していただき、力を合わせてチャレンジの目標を達成した場合、還元率を引き上げる等のキャンペーンを行います。

深谷市地域通貨ネギー negi

令和6年度活動テーマ　地域内経済循環の向上と、地域通貨を用いた地域課題解決

「農業の強みを生かした産業振興プロジェクト」の取り組みをご賛同頂き、寄附頂いた企業様には、ご賛同頂いた企業名やロゴをベジタブルテーマパーク フカヤのホームページ等で掲載致します。

3 「ふかや」の魅力を生かした移住定住推進プロジェクト

Project of FUKAYA

事業のコンセプト

子育て世帯に重点を置いた移住定住促進

SDGsとの関係：主に関係するゴール

1 幼稚園・こども館複合施設建設事業

令和6年度予算 15億25万円

具体的な取組

1 地域の子育て支援の充実

子育て世代の移住者と地域をつなぐ結節点として、移住後の保護者同士や地域とのつながりを深めることができるよう、地域の子育て支援体制について、さらなる充実を図るとともに、子育て中の親子が気軽に集い、児童に健全な遊びを与え、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場を提供します。

こども館内観完成予想イメージ

幼稚園・こども館複合施設完成予想イメージ

2 私立保育施設運営事業等

令和6年度予算 49億7,996万円

具体的な取組

1 子育て家庭の経済的不安の軽減

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援体制を確保し、安心・安全で健やかな妊娠・出産、産後をサポートするとともに、出産祝い金の支給や、保育施設に通う児童に対する保育料完全無償化などの深谷市独自の経済的支援を通じて、子育て家庭の経済的不安を軽減し、安心して子どもを育てられる環境づくりを推進します。

3 空き家対策事業

令和6年度予算 80万円

具体的な取組

1 ふかやの特色を生かした移住策の推進

都会などからの移住、二拠点居住などにより、自然に親しみながら、のびのびと子育てができるライフスタイルとして「農ある暮らし」をしたい方のニーズに応えるため、空き家と農地をセットで利用する農地付き空き家の活用促進を図るとともに、「農ある暮らし」を幅広くサポートする支援体制の充実を図ります。

4 シティセールス推進事業

令和6年度予算 629万円

具体的な取組

1 ふかやの魅力を伝える移住体験・プロモーションの実施

深谷市の子育て環境や暮らしの良さ、自然環境の豊かさなど、地域の情報を移住希望者に伝えるため、さまざまな媒体を活用したプロモーション活動を実施します。

また、移住を検討している方を対象に、生活環境や都内への距離感など移住後の生活をイメージしてもらうため、関係団体と連携して、移住体験に関する取組を推進します。

深谷市PR動画

移住定住プロモーション動画

深谷市移住BOOK

5 移住定住推進事業

令和6年度予算 5,910万円

具体的な取組

1 移住希望者のニーズに応じた支援制度の充実

子育て世代の移住を促進し、深谷市がその選択肢のひとつとなるよう、移住希望者のニーズ把握を行うとともに、移住後に場所を選ばず仕事ができる・続けるための支援や、移住希望者に寄り添う相談、関係団体との連携・協力、きめ細やかな支援体制の構築に取り組みます。

“ふかやの暮らし”支援策チラシ

深谷市移住支援金チラシ

ふかやの暮らし支援策HP

深谷市移住支援金HP

4 行政デジタル化推進プロジェクト

Project of FUKAYA

事業のコンセプト

ICTを活用した行政のデジタル化

SDGsとの関係：主に関係するゴール

1 行政情報化推進事業等

令和6年度予算 7,298万円

具体的な取組

1 いつでも・どこでもつながることができるスマートな市役所の実現

スマートフォンやタブレットなどを各種オンラインサービスの窓口とするとともに、総合支所などからでも、リモートで相談や受付ができるリモート窓口を設置します。

また、マイナンバーカードの普及促進を図るとともに、申請や相談、イベントへの参加など、これまで市役所や現地に行かなければ受けられなかったサービスのオンライン化を推進し、いつでも・どこでもサービスを受けられるスマートな市役所の実現を目指します。

2 情報システム・システム基盤運営管理事業

令和6年度予算 3億163万円

具体的な取組

1 市民にやさしいデジタル化の推進

ICTを活用し、来庁時の滞在時間の短縮や非接触化を図るため、「デジタルファースト（書かない窓口）」や、「ワンスオンリー（一度入力した項目を何度も確認しない）」などを推進します。

また、スマートフォンなどのデジタルツールを使い、誰でもデジタル化の恩恵を受けられるよう、オンライン接続スポットの整備を進めるとともに、オンラインサービスの利用を促進します。

デジタルファーストの取組

書かない窓口の開設

5 ゼロカーボンシティ推進プロジェクト

Project of FUKAYA

事業のコンセプト

地球温暖化対策の推進

SDGsとの関係：主に関係するゴール

1 地球温暖化対策事業

令和6年度予算 2,804万円

具体的な取組

1 エネルギーの地産地消と脱炭素化の推進

地域新電力などと連携し、地域内の再生可能エネルギー設備で発電した電力を地域内に供給することにより、エネルギーの地産地消を推進します。

公共施設などにおいて、さらなる再生可能エネルギー設備の導入を推進するとともに、国により認証された二酸化炭素排出量ゼロのカーボンフリー電力の使用を推進します。

また、地域内の脱炭素推進の一環として、住宅用省エネ設備補助制度の拡充や、住宅・オフィス照明のLED化の推進など、家庭や企業における二酸化炭素削減の取組を促進します。

深谷市役所本庁舎の太陽光発電設備

2 ゼロカーボン・ドライブの推進

市民や市内事業者に、ウオーキング、自転車・公共交通機関の利用、自然環境への負荷が少ないエコカーの利用など、エコな移動手段の普及を促進します。

また、再生可能エネルギー設備で発電した電力と、電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド車（PHEV）、燃料電池自動車（FCV）などを活用した、走行時の二酸化炭素排出量がゼロの「ゼロカーボン・ドライブ」を推進するため、まずは、企業などの協力を得ながら、公用車について、電気自動車などの導入を段階的に推進します。

2 ごみ減量・資源リサイクル事業

令和6年度予算 920万円

具体的な取組

1 捨てないことで未来の地球を守るごみの減量化・再生利用対策の推進

限りある資源を未来に繋ぐ循環型社会の実現に向け、3R（Reduce（廃棄物の発生抑制）、Reuse（再使用）、Recycle（再生利用））の推進、プラスチック類や食品ロスの削減など、ごみの削減に向けた取組を推進するとともに、環境意識の向上とごみの減量化などに向けた積極的な取組を促進するため、市民団体・企業・大学などと連携し、環境教育を推進します。

深谷市の紹介

深谷市は、埼玉県北西部に位置し、東京から電車で約1時間半の距離にあり、電車を降りると赤レンガ調の深谷駅やふっかちゃんのからくり時計が出迎えてくれます。

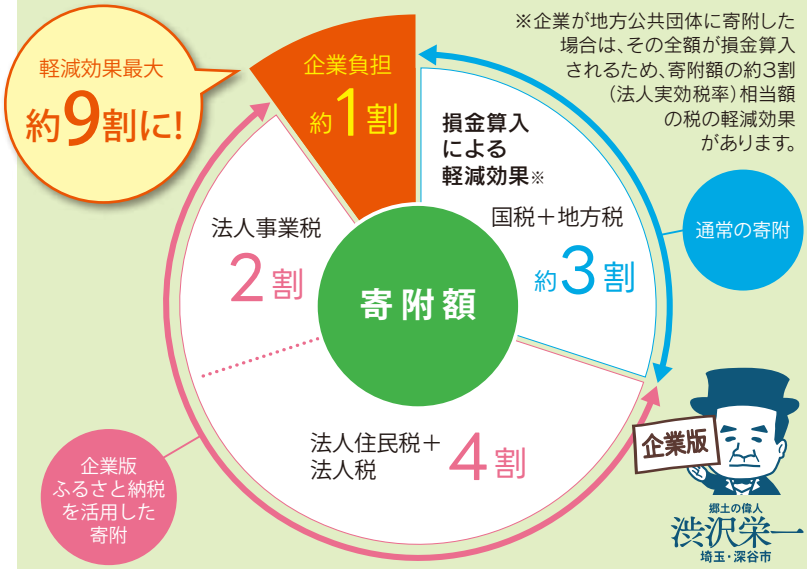
「近代日本経済の父」といわれ、新一万円札の肖像に決まった渋沢栄一は、現在の深谷市で生まれ育ちました。市内には、渋沢栄一記念館をはじめ、旧渋沢邸「中の家」や誠之堂・清風亭など、歴史的にも貴重な建物が数多く残されており、渋沢栄一の足跡をたどることが出来る場所となっています。

また、深谷市は深谷ねぎをはじめとする野菜や、深谷牛などの農畜産物の生産が盛んであるとともに、ユリやチューリップなどの花卉栽培も盛んです。

さらに、渋沢栄一が好んで食べた煮ぼうとうやお漬物、日本酒、深谷瓦など、長い歴史とともに培われてきた伝統の味と技が受け継がれるまちです。

企業版ふるさと納税とは

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）とは、企業が寄附を通じて、地方公共団体の行う地方創生の取組を応援した場合に、税制上の優遇を受けられる仕組みです。最大で寄附額の約９割が軽減され、実質的な企業の負担を約1割まで圧縮することができます。



寄附のご検討にあたって

merit 01

企業イメージの向上に貢献します。

市HPでの企業情報の周知や、目録贈呈式を開催するほか、渋沢栄一生地に立つ旧渋沢邸「中の家」に企業名を記した寄附銘板を設置します。

merit 02

税負担の軽減効果が従来の寄附の3倍になります。

現行の損金算入措置（約3割）と併せて寄附額の9割に相当する額が軽減されます。

merit 03

寄附は１０万円から可能です。

１回あたり１０万円から寄附が出来るため、利用しやすい制度です。

深谷市に企業版ふるさと納税寄附をいただいた企業様への対応

1 企業の代表者による目録贈呈式

2 企業名を記した芳名板の設置

3 市HPでの企業情報掲載

4 市イベントへの参加・登壇依頼

問い合わせ先

深谷市役所
企画財政部 企画課

〒366-8501　埼玉県深谷市仲町11-1
TEL:048-574-8096（直通）　FAX:048-574-6665
E-mail：plankika@city.fukaya.saitama.jp

企業版ふるさと納税関連ホームページ

深谷市企業版ふるさと納税HP
https://www.city.fukaya.saitama.jp/soshiki/kikakuzaisei/kikaku/tanto/kigyou/14406.html

企業版ふるさと納税 電子申請ページ
https://ttzk.graffer.jp/city-fukaya/smart-apply/apply-procedure-alias/kigyobanfurusator5

企業版 ふかやにふるさと納税あるある？ 深谷市